



vol.111

公益財団法人福岡県体育協会 / 令和2年1月31日発行

体協ふくおか

題字 上田憲幸・(公財)福岡県体育協会第9代会長

体協ふくおか vol.111

発行 (公財)福岡県体育協会
〒812-0852 福岡市博多区東平尾公園2-1-4 県立スポーツ科学情報センター内

TEL (092) 629-3535

FAX (092) 629-3536
[E-mail] fukuokaken@japan-sports.or.jp
[HP] http://www.sports-fukuoka.or.jp/

小さな掛金、大きな補償

スポーツ安全保険®

対象となる事故

団体・グループ活動中の事故/往復中の事故

保険期間

2019年4月1日午前0時から
2020年3月31日午後12時まで



加入区分	年間掛金 (1人当たり)	傷害保険金額				賠償責任保険 支払限度額 (免責金額なし)	突然死葬祭 費用保険 支払限度額		
		死亡	後遺障害 (最高)	入院日額 (1日目から/180日限度)	通院日額 (1日目から/30日限度)				
子ども (中学生以下) ※特別支援学校 高等部の生徒を含む	スポーツ活動 文化活動 ポランティア活動 地域活動	A1	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	対人・対物賠償 合算1事故 5億円 (ただし、対人賠償は1人1億円)	180万円
	上記団体活動に加え、個人活動も対象 上段: 団体活動中およびその往復中の補償額 下段: 上記以外 (個人活動など) の補償額	AW	1,450円	2,100万円	3,150万円	5,000円	2,000円	対人・対物賠償 合算1事故 5億円 (ただし、対人賠償は1人1億500万円)	
大人 (高校生以上)	スポーツ活動 (指導・審判を含む) ※右記年齢の判断は、「[2019年4月1日]と「掛金の支払い手続きを行う日」のいずれか遅い日の年齢を基準とします。 ※A2区分で対象となる活動も補償されます。	C 64歳以下	1,850円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	対人・対物賠償 合算1事故 5億円 (ただし、対人賠償は1人1億円) ⚠️自動車事故によって賠償責任を負った場合は、補償の対象なりません。	180万円
	文化活動 ポランティア活動 地域活動 準備・片付け・応援・団体の送迎 ※スポーツ活動中の事故は補償の対象なりません。	B 65歳以上	1,200円	600万円	900万円	1,800円	1,000円		
	上記団体活動に加え、個人活動も対象 上段: 団体活動中およびその往復中の補償額 下段: 上記以外 (個人活動など) の補償額	A2	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
全年齢	危険度の高いスポーツ (指導・審判を含む)	D	11,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円		

年間掛金には、制度運営費 (10円) が含まれます。

第74回国民体育大会
天皇杯11位 (1337.5点) 皇后杯10位 (759.5点)



公益財団法人 スポーツ安全協会 福岡県支部 〒812-0852 福岡市博多区東平尾公園2-1-4 アクション福岡内
(公財) 福岡県体育協会内

TEL 092-622-5775 電話受付時間 午前9時~12時 午後1時~5時 (土、日、祝日を除く。)



保険の詳細内容、資料の請求は、ホームページをご覧ください。
※インターネットからも加入受付をおこなっております。

スポーツ安全保険 検索

この広告はスポーツ安全保険の概要についてご紹介したものです。ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら (公財) スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険 (株) までお問い合わせください。

〈引受幹事保険会社〉
東京海上日動火災保険株式会社
担当課 公務第2部 文教公務室
TEL 03-3515-4346 (平日9:00~17:00)
〈共同引受保険会社 (2019年4月予定)〉
あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン日本興亜
大同火災 東京海上日動 日新火災 三井住友海上 AIG損保

2018年12月作成 18-T07915

CONTENTS

- P1 第74回国民体育大会
- P8 第62回福岡県民体育大会
- P10 第6回市町村対抗「福岡駅伝」
- P11 福岡県スポーツ少年団リーダー会
- P12 福岡県スポーツ少年団県内交流事業
- P13 福岡県スポーツ少年団九州ブロック大会
- P14 日中青少年スポーツ団員交流事業 (受入)
- P15 福岡県タレント発掘事業
- P16 競技団体レポート
- P18 草の根指導者
- P19 総合型地域スポーツクラブ
- P20 賛助会員のご紹介



本誌はスポーツ振興くじ助成金を受け作成しています。

第74回 国民体育大会(いきいき茨城ゆめ国体)

第74回国民体育大会(いきいき茨城ゆめ国体)が、令和元年9月28日から10月8日まで(会期前:9月7日~16日)茨城県で開催され、本県からは、本部役員22名、監督・選手595名(強化スタッフを含む)の計617名が参加した。

総合開会式では、開催県茨城の方々の声援を頂きながら、住吉徳彦副団長、赤木さくら旗手(ホッケー競技・成年女子)を先頭に堂々とした入場行進で、「チーム福岡」の存在感を示した。

総合成績は天皇杯1337.5点を獲得し11位、皇后杯でも759.5点を獲得し10位という結果となった。昨年度の天皇杯8位入賞には惜しくも届かなかったが、個人競技では、スケート競技、陸上競技、水泳競技、セーリング競技、自転車競技、ボート競技、ゴルフ競技、団体競技では、ラグビーフットボール競技、柔道競技、ハンドボール競技、ゴルフ競技、バスケットボール競技、自転車競技の計11競技、17種別・種目で見事に優勝し、優勝競技数は昨年度を上回る結果となった。また、陸上競技(25年ぶり)とラグビーフットボール競技(3年連続)が競技別天皇杯優勝を果たし、柔道競技女子種別においては2連覇を成し遂げる素晴らしい成績を残すことができた。

次回大会「燃ゆる感動かごしま国体」に向けて競技力の向上を目指すとともに、「チーム福岡」一丸となり、天皇杯8位以内入賞を果たすことが期待される場所である。

総合成績

【男女総合】

順位	74回大会		73回大会	
	都道府県	得点	都道府県	得点
1位	茨城	2569.0	福井	2896.0
2位	東京	2217.0	東京	2246.0
3位	愛知	1789.0	大阪	1880.0
4位	埼玉	1735.0	埼玉	1825.5
5位	神奈川	1643.5	千葉	1708.5
6位	大阪	1552.0	愛知	1687.5
7位	千葉	1470.5	神奈川	1611.0
8位	京都	1410.0	福岡	1468.0
9位	北海道	1397.5	北海道	1407.5
10位	福井	1391.0	兵庫	1312.5
11位	福岡	1337.5	岡山	1288.5
12位	岡山	1267.0	愛媛	1235.0
13位	兵庫	1184.5	長野	1233.5

【女子総合】

順位	74回大会		73回大会	
	都道府県	得点	都道府県	得点
1位	茨城	1331.0	福井	1462.5
2位	東京	1286.5	東京	1280.5
3位	愛知	1043.5	大阪	1046.0
4位	埼玉	997.5	愛知	1007.0
5位	大阪	926.0	埼玉	957.5
6位	京都	807.5	神奈川	884.0
7位	千葉	801.5	千葉	830.0
8位	兵庫	787.0	福岡	815.0
9位	神奈川	771.0	兵庫	814.0
10位	福岡	759.5	愛媛	763.0
11位	福井	746.5	長野	731.5
12位	鹿児島	683.5	岡山	707.5
13位	愛媛	666.0	静岡	698.0

つなげていきます スポーツへの想い

スポーツくじの収益は、
日本のスポーツを育てるために
使われています。

スポーツくじ  BIG



第74回国民体育大会 競技別成績

競技名	天皇杯(男女総合成績)		皇后杯(女子総合成績)	
	順位	得点	順位	得点
陸上競技	1位	118.0	8位	51.0
水泳	9位	102.5	9位	60.0
サッカー	13位	30.0	5位	30.0
テニス	13位	25.0	13位	10.0
ボート	20位	16.5	14位	16.5
ホッケー	15位	30.0	9位	30.0
ボクシング	15位	29.5	9位	10.0
バレーボール	15位	38.0	18位	10.0
体操	23位	10.0	19位	10.0
バスケットボール	3位	50.0	15位	10.0
レスリング	33位	23.0	9位	12.5
セーリング	13位	25.0	14位	18.0
ウエイトリフティング	18位	47.0	11位	19.0
ハンドボール	3位	62.5	2位	50.0
自転車	6位	61.0	16位	10.0
ソフトテニス	20位	10.0	15位	10.0
卓球	6位	34.0	10位	17.5
軟式野球	9位	10.0	-	-
相撲	16位	10.0	-	-
馬術	38位	10.0	24位	10.0
フェンシング	25位	10.0	17位	10.0
柔道	2位	80.0	1位	50.0
ソフトボール	21位	10.0	15位	10.0
バドミントン	22位	10.0	14位	10.0
弓道	31位	10.0	21位	10.0
ライフル射撃	37位	14.0	33位	10.0
剣道	2位	96.0	2位	61.0
ラグビーフットボール	1位	99.0	4位	35.0
山岳	23位	19.0	10位	19.0
カーン	37位	16.0	23位	16.0
アーチェリー	14位	22.0	16位	10.0
空手道	20位	15.0	14位	12.5
銃剣道	-	-	-	-
クレー射撃	15位	10.0	-	-
なぎなた	21位	10.0	21位	10.0
ボウリング	22位	19.5	16位	19.5
ゴルフ	3位	49.0	6位	19.0
トライアスロン	14位	10.0	9位	10.0
計	11位	1337.5	10位	759.5

大会期間中における本県選手団の活躍ぶりをニューズレターとして発行しておりますので、ご覧下さい。
 公益財団法人福岡県ホームページ <http://www.sports-fukuoka.or.jp/>

第74回国民体育大会入賞者一覧

【個人】
(冬季大会)

競技名	種別	種目	順位	氏名	所属
スケート (フィギュア)	成年男子		7位	山田 耕新	(株)三井住友銀行
	成年男子		8位	中野 紘輔	福岡大学
	成年女子		1位	竹野 比奈	福岡大学
	成年女子		8位	上地 悠理花	福岡大学
スケート (ショートトラック)	少年男子	500m	3位	井上 幹皓	沖学園高等学校
	少年男子	500m	7位	田平 修大	東福岡高等学校
	少年女子	500m	5位	高橋 花菜	九州産業大学付属九州高等学校
	少年女子	1000m	7位	高橋 花菜	九州産業大学付属九州高等学校

(本大会)

競技名	種別	種目	順位	氏名	所属
陸上競技	成年男子	100m	6位	南山 義輝	早稲田大学
	成年男子	10000m競歩	1位	古賀 友太	明治大学
	成年男子	走高跳	1位	真野 友博	(株)九電工
	成年男子	砲丸投	3位	畑瀬 聡	日本大学
	成年女子	5000m	7位	矢野 菜理	チャンピオンズクラブ九州
	成年女子	走高跳	6位	仲野 春花	日本発条(株)
	成年女子	砲丸投	4位	太田 亜矢	福岡大学(職)
	成年女子	棒高跳	6位	台信 愛	福岡県立中間高等学校
	少年男子A	400m	2位	藤好 駿太	福岡県立修猷館高等学校
	少年男子A	400mハードル	1位	出口 晴翔	東福岡高等学校
	少年男子A	5000m	4位	キモンソップ ビクター	福岡第一高等学校
	少年男子B	3000m	3位	荒巻 朋照	大牟田高等学校
	少年男子共通	三段跳	6位	水野 皓太	福岡県立三池高等学校
	少年男子共通	110mハードル	5位	宮崎 匠	東福岡高等学校
	少年男子共通	走高跳	2位	永島 将貴	飯塚高等学校
	少年女子A	100mハードル	1位	伊藤 彩香	福岡県立青豊高等学校
	少年女子B	1500m	1位	柳楽 あずみ	筑紫女学園高等学校
	少年女子共通	800m	3位	柳楽 あずみ	筑紫女学園高等学校
	少年女子共通	400mハードル	3位	青木 穂花	筑紫女学園高等学校
	成年男子	100m背泳ぎ	5位	坂井 聖人	SEIKO
	成年男子	200m個人メドレー	7位	宝田 康平	東洋大学
	成年女子	100m自由形	7位	榎野 爽音	日本体育大学
	成年女子	100mバタフライ	8位	榎野 爽音	日本体育大学
	成年女子	100m背泳ぎ	7位	柳 あかね	近畿大学
成年女子	100m平泳ぎ	3位	鈴木 聡美	ミキハウス	
少年男子A	50m自由形	5位	中杉 勇斗	常盤高等学校	
少年男子A	100m自由形	5位	中杉 勇斗	常盤高等学校	
少年男子A	400m個人メドレー	6位	高田 航輔	九州産業大学付属九州高等学校	
少年男子B	50m自由形	2位	小山 陽翔	東福岡高等学校	
少年男子B	100m自由形	4位	小山 陽翔	東福岡高等学校	
少年男子B	100m背泳ぎ	8位	竹原 秀一	宗像市立城山中学校	
少年男子B	400m自由形	7位	永岡 祥	常盤高等学校	
少年男子B	200m個人メドレー	8位	原 空輝	東福岡高等学校	
少年女子A	50m自由形	8位	井上 結貴	福岡県立宗像高等学校	
少年女子A	200m背泳ぎ	6位	井上 結貴	福岡県立宗像高等学校	
少年女子A	200m平泳ぎ	1位	石原 愛依	柳川高等学校	
少年女子A	400m個人メドレー	2位	石原 愛依	柳川高等学校	
少年女子B	100m自由形	7位	森田 真心	福岡市立板付中学校	
少年女子B	100mバタフライ	4位	三村 はるな	春日市立春日野中学校	
少年女子共通	400m自由形	5位	岡 莉子	柳川高等学校	
ボート	少年女子	シングルスカル	1位	松田 京子	成立学園高等学校
ボクシング	少年男子	ライトフライ級	3位	中山 颯太	東福岡高等学校
	少年男子	フライ級	2位	中山 慧大	東福岡高等学校
	少年男子	バンタム級	2位	原田 周大	豊国学園高等学校
レスリング	成年男子	グレコローマンスタイル97kg級	3位	天野 雅之	中央大学(職)
	女子	フリースタイル62kg級	5位	入江 くらみ	九州共立大学
	少年男子	フリースタイル71kg級	5位	中村 成吾	福岡県立三井高等学校
	成年男子	ウインドサーフィン級	7位	村田 高亮	(株)東栄住宅
セーリング	成年女子	ウインドサーフィン級	1位	山辺 美希	(株)サガミ
	少年男子	レーザーラジアル級	4位	安永 昂生	上智福岡中学高等学校
ウエイトリフティング	成年男子	61kg級クリーン&ジャーク	8位	西 浩生	九州国際大学
	成年男子	96kg級クリーン&ジャーク	8位	松本 和真	九州国際大学
	成年男子	+109kg級スナッチ	5位	太田 和臣	福岡県立光陵高等学校(教)
	成年男子	+109kg級クリーン&ジャーク	7位	太田 和臣	福岡県立光陵高等学校(教)
	女子	-55kg級スナッチ	4位	柳田 瑞季	九州国際大学(職)
	女子	-55kg級クリーン&ジャーク	5位	柳田 瑞季	九州国際大学(職)
	少年男子	55kg級スナッチ	8位	木村 亮祐	筑紫台高等学校
	少年男子	55kg級クリーン&ジャーク	5位	木村 亮祐	筑紫台高等学校
	少年男子	81kg級クリーン&ジャーク	4位	浅野 太郎	福岡県立八幡中央高等学校
	少年男子	89kg級スナッチ	4位	内田 義一	福岡県立八幡中央高等学校
	少年男子	89kg級クリーン&ジャーク	4位	内田 義一	福岡県立八幡中央高等学校
	成年男子	スプリント	3位	梶原 海斗	中央大学
自転車	成年男子	スクラッチ	1位	兒島 直樹	日本大学
	成年男子	ポイント・レース	5位	貝原 涼太	日本大学
	少年男子	1kmタイム・トライアル	4位	堀川 敬太郎	祐誠高等学校
	少年男子	ロード・レース	5位	堀川 敬太郎	祐誠高等学校
ライフル射撃	少年男子	ビーム・ピストル(60発)	5位	小柳 勇生	福岡県立太宰府高等学校
	成年女子	ワイルド・ウォーター・カヤックシングル(スプリント)	6位	江田 純子	NPO法人おおき・ほっとかん たんぽぽ園
カヌー	成年女子	ワイルド・ウォーター・カヤックシングル(1500m)	6位	江田 純子	NPO法人おおき・ほっとかん たんぽぽ園
	少年男子	組手軽量級	5位	八頭司 恭仁	長崎国際大学
空手道	成年男子	形	5位	宇都宮 優佳	博多高等学校
	少年女子	成年	5位	尾上 隆光	尾上歯科医院
クレー射撃	成年女子	トラップ	4位	阪本 和江	(株)イング
	少年男子	成年	5位	澁澤 莉絵瑠	北山カントリークラブ
ゴルフ	少年男子		1位	長野 泰雅	沖学園高等学校
	少年男子		3位	石塚 祥利	沖学園高等学校

第74回国民体育大会入賞団体一覧

【個人】
(冬季大会)

競技名	種別	種目	順位	氏名	所属	氏名	所属
スケート (フィギュア)	成年男子		4位	監督:福留 富枝 山田 耕新	福岡県スケート連盟 (株)三井住友銀行	中野 紘輔	福岡大学
	成年女子		2位	監督:湯浅 京子 竹野 比奈	福岡三越エルミダ 福岡大学	上地 悠理花	福岡大学
	少年女子		4位	監督:石原 美和 藤 由妃乃	福岡県スケート連盟 福岡海星女子学院高等学校	竹野 仁奈	冲学園高等学校
スケート (ショートトラック)	成年女子	3000mR	8位	監督兼選手:古賀 あや 森 美紀	筑紫野市立二日市中学校(教) 福岡県スケート連盟	弥中 美由 渡邊 詩織	富士通(株) 福岡県スケート連盟

(本大会)

競技名	種別	種目	順位	氏名	所属	氏名	所属
陸上	成年少年 男子共通	4×100mリレー	7位	監督:松隈 大治 大瀬戸 一馬 宮崎 匠	福岡大学(職) 安川電機 東福岡高等学校	監督:小野原 英樹 南山 義輝 北原 竜之介	福岡県立小倉東高等学校(教) 早稲田大学 九州産業大学付属九州産業高等学校
水泳 (競泳)	全種別			監督:松本 貞朗	プリヂェストンSS太宰府	監督:古賀 啓士	柳川スイミングクラブ
	成年男子	4×100mメドレーリレー	7位	坂井 聖人 藤原 育大	SEIKO 日本大学	平河 楓 菅田 大雅	早稲田大学 中京大学
	成年女子	4×100mメドレーリレー	4位	柳 あかね 植野 爽音	近畿大学 日本体育大学	鈴木 聡美 今井 美祈	ミキハウス 中京大学
	少年男子B	4×100mメドレーリレー	6位	竹原 秀一 佐藤 晴輝	宗像市立城山中学校 東福岡高等学校	坂本 淳之介 原 空輝	福岡大学附属若葉高等学校 東福岡高等学校
	少年男子B	4×100mフリーリレー	4位	池上 泰正 小山 陽翔	柳川市立三橋中学校 東福岡高等学校	竹原 秀一 原 空輝	宗像市立城山中学校 東福岡高等学校
	少年女子A	4×100mメドレーリレー	7位	井上 結貴 川口 里利央	福岡県立宗像高等学校 福岡大学附属若葉高等学校	石原 愛依 高原 彩花	柳川高等学校 福岡県立福岡中央高等学校
	少年女子B	4×100mメドレーリレー	8位	三村 はるな 小山田 季未	春日市立春日野中学校 福岡県立筑紫高等学校	熊川 菜穂 森田 真心	春日市立春日野中学校 福岡市立板付中学校
	少年女子B	4×100mフリーリレー	8位	森田 真心 神武 ゆら	福岡市立板付中学校 太宰府市立太宰府東中学校	三野 晴菜 小山田 季未	福岡市立春吉中学校 福岡県立筑紫高等学校
サッカー	女子		5位	監督:高倉 直樹 原 日輝 山本 ひろな 赤尾 侑里 富田 琴音 川野 愛華 吉村 あかり 井上 麗叶	福岡県立八幡南高等学校(教) 福岡大学 東海大学付属福岡高等学校(教) 東海大学付属福岡高等学校 福岡大学 東海大学付属福岡高等学校 東海大学付属福岡高等学校 東海大学付属福岡高等学校	熱田 菜緒 川上 千沙都 小緑 瑠夏 原田 優 川下 季恵 香椎 彩香 中島 依真 松崎 こころ	福岡大学 東海大学付属福岡高等学校 福岡大学 東海大学付属福岡高等学校 新潟医療福祉大学 東海大学付属福岡高等学校 東海大学付属福岡高等学校 東海大学付属福岡高等学校
テニス	少年男子		4位	監督:高嶋 康博 小川 智裕	柳川高等学校(教) 柳川高等学校	宮田 陸	筑陽学園高等学校
ホッケー	成年女子		5位	監督兼選手:本田 瑞恵 久富 ひかり 高巢 未来 木村 晴奈 山崎 三和 野又 唯花 内丸 七海 宮本 愛永	(株)フジマックネオ 東海学院大学 香住ヶ丘保育園 聖泉大学 東海学院大学 福岡歯科衛生専門学校 天理大学 古賀競成館高等学校(教)	艶島 麻弓 川鍋 真実 山本 麻美子 澤田 未梨美 赤木 さくら 福永 百華	(株)アルペンスポーツデポ 立命館大学 (株)日立博愛ヒューマンサポート 東海学院大学 天理大学 (株)メガスポーツ

第74回国民体育大会入賞団体一覧

競技名	種別	種目	順位	氏名	所属	氏名	所属								
バレーボール	少年男子	6人制	5位	監督:藤元 聡一 相坂 幸輝 松岡 拓弥 柳北 悠季 内本 歩夢 小出水 湧 寺西 海人	東福岡高等学校(教) 東福岡高等学校 東福岡高等学校 東福岡高等学校 東福岡高等学校 祐誠高等学校 福岡大学附属大濠高等学校	廣田 大騎 本部 翔太 藤 武弘 坪谷 悠翔 松本 喜輝 脇島 勇晴	東福岡高等学校 東福岡高等学校 東福岡高等学校 東福岡高等学校 九州産業大学付属九州産業高等学校 祐誠高等学校								
	少年男子	ビーチバレーボール	5位	監督:熊丸 修二 甲斐 貴大	福岡県立八幡高等学校(教) 福岡県立八幡高等学校	佐藤 凜和	福岡県立八幡高等学校								
バスケットボール	少年男子		1位	監督:鶴我 隆博 ハーバニャン ローレンス ジュニア 早田 流星 星賀 舞也 間山 柊 針間 大知 大澤 祥貴	福岡市立西福岡中学校(教) 福岡第一高等学校 福岡第一高等学校 福岡第一高等学校 福岡大学附属大濠高等学校 福岡大学附属大濠高等学校 福岡大学附属大濠高等学校 福岡大学附属大濠高等学校	キエキトピーアリ 鷹野 祐磨 佐藤 涼成 岩下 准平 島崎 輝 浅井 英矢	福岡第一高等学校 福岡第一高等学校 福岡第一高等学校 福岡大学附属大濠高等学校 福岡大学附属大濠高等学校 福岡県立北筑高等学校								
				成年男子	5位	監督:田中 守 森田 匠悟 広川 功介 佐藤 陸 村上 恵亮 宮本 雅也 久保 慶悟	福岡大学(教) 福岡大学 福岡大学 福岡大学 福岡大学 福岡大学 (株)M.K.ロジ	高木 華雅 當村 拓真 吉田 幸平 西田 智哉 野口 智秀 渡辺 昭洋	福岡大学 福岡大学 福岡大学 福岡大学 くわの農園 尾形物産						
						少年女子	1位	監督:村山 功太 柿添 まどか 長谷川 真子 村上 楓 松永 愛加 白石 理子 森 佑香子	筑紫女学園中学校(教) 明光学園高等学校 明光学園高等学校 明光学園高等学校 明光学園高等学校 明光学園高等学校 明光学園高等学校	岡崎 睦叶 山脇 みなみ 平田 萌華 中園 愛子 長沼 璃羽 池畑 咲和	明光学園高等学校 明光学園高等学校 明光学園高等学校 明光学園高等学校 明光学園高等学校 明光学園高等学校				
								自転車	男子	4kmチーム・パーシュート	1位	監督:小川 博美 橋本 陸 貝原 涼太	久留米市商工観光労働部競輪事業課 中央大学 日本大学	監督:山下 秀房 上野 恭哉 兒島 直樹	福岡県自転車競技連盟 法政大学 日本大学
								卓球	成年女子		5位	監督:堤 葉子 柴田 理彩 岩越 帆香	福岡県卓球協会 専修大学 早稲田大学	前田 早貴	東京富士大学
									少年男子		3位	監督:石田 真太郎 阿部 悠人 米倉 勝	希望が丘高等学校(教) 希望が丘高等学校 希望が丘高等学校	杉本 和也	希望が丘高等学校
								柔道	女子		1位	監督:泉 麻生 坪根 和海 山口 葵良梨 児玉 ひかる	福岡工業大学(職) 敬愛高等学校 大牟田高等学校 東海大学	立川 莉奈 丸山 みかの	福岡県警察 敬愛高等学校
									少年男子		3位	監督:乙部 将彦 中島 瑞貴 竹市 大祐 服部 大喜	福岡県立朝倉東高等学校(教) 西日本短期大学附属高等学校 大牟田高等学校 大牟田高等学校	田中 裕大 森 健心	大牟田高等学校 大牟田高等学校

第74回国民体育大会入賞団体一覧

「チーム福岡」戦いの軌跡

競技名	種別	種目	順位	氏名	所属	氏名	所属
剣道	成年女子		2位	監督兼選手:宮本 真沙代	福岡県警察	栢込 麻衣子	第一生命保険(株)
				妹尾 舞香	鹿屋体育大学		
	少年男子		2位	監督:権藤 和彦	東福岡高等学校(教)		
				田城 徳光	福岡第一高等学校	池田 虎ノ介	福岡大学附属大濠高等学校
				谷口 隆磨	福岡第一高等学校	瀧地 慶一	福岡大学附属大濠高等学校
	少年女子		3位	監督:権藤 和彦	東福岡高等学校(教)		
				大嶋 友莉亜	中村学園女子高等学校	奥谷 茉莉	中村学園女子高等学校
				笠 日向子	中村学園女子高等学校	八木 優澄	筑紫台高等学校
	ラグビー フットボール	女子		4位	監督:平野 勉	九州産業大学(職)	
松尾 綺子					(一社)横河武蔵野アトラスターズ	吉村 乙華	福岡県立東筑高等学校
草野 可凜					アザレア・セブン	内野 琴音	九州産業大学
林 かな					福岡県立福岡高等学校	大内田 夏月	福岡県立筑紫高等学校
高崎 真那					日本体育大学	山本 和花	日本体育大学
少年男子			1位	監督:平本 健	福岡工業大学附属城東高等学校(教)		
				川崎 太雅	東福岡高等学校	本田 啓	東福岡高等学校
				玉木 皓盛	東福岡高等学校	谷山 隼大	福岡県立福岡高等学校
				森山 雄太	東福岡高等学校	永嶋 仁	東福岡高等学校
				井上 風雅	東福岡高等学校	西濱 悠太	東福岡高等学校
				西村 笙	東福岡高等学校	野口 大介	福岡県立修猷館高等学校
				高本 とむ	東福岡高等学校	野中 優作	東福岡高等学校
				有吉 健	東福岡高等学校	志氣 陸王	東福岡高等学校
				吉野 遼	東福岡高等学校	オトウホウマ シアレ	東海大学付属福岡高等学校
				高木 志門	東福岡高等学校	小西 優治	東福岡高等学校
豊福 航太	東福岡高等学校	山田 晋	福岡工業大学附属城東高等学校				
池上 琉生	福岡県立筑紫高等学校	森 駿太	東福岡高等学校				
松岡 大河	東福岡高等学校						
スポーツ クライミング	成年女子	ボルダリング	6位	監督:白水 明美	森のぼかぼか幼稚園		
アーチェリー	成年男子		5位	監督:山根 真樹	福岡県立小倉南高等学校(教)		
				前田 悠帆	グローリー(株)	長谷川 将	近畿大学
ボウリング	成年女子		7位	監督:的野 洋祐	的野建設工業(株)		
				坂井 百望	福岡大学	藤田 亜美	コロナキャットボウル
ゴルフ	成年男子	団体	7位	監督:安藤 倫子	福岡県ゴルフ協会		
				古川 雄大	東海大学	稲田 愛篤	福岡県ゴルフ協会
	女子	団体	6位	監督:安藤 倫子	福岡県ゴルフ協会		
				濫澤 莉絵瑠	北山カントリークラブ	塩澄 英香	沖学園高等学校
				松熊 理子	日本経済大学		
少年男子	団体	1位	監督:水田 潤	茜ゴルフクラブ			
			出利葉 太一郎	沖学園高等学校	長野 泰雅	沖学園高等学校	
				石塚 祥利	沖学園高等学校		



スポーツフェスタ・ふくおか「第62回福岡県民体育大会」は、夏季大会が8月18日、秋季大会が9月21～22日に筑豊地区、北九州地区で開催されました。

本年度の「福岡県民体育大会」夏季大会は県営筑豊緑地プールにて開催され、大変暑い中、年長児から80歳以上の方まで幅広い世代の方に参加いただきました。

秋季大会においては、21日に田川市総合体育館にて総合開会式が行われました。22日の屋外競技につきましては、台風の影響により中止となりました。しかし、今年度からバスケットボール競技(障がい者(知的)の部)、ボッチャ競技、ライフル射撃競技、ゴールボール競技の4競技が障がい者部門に増設され、多くの県民の皆様に参加いただき、より素晴らしい競技が繰り広げられました。



夏季大会水泳競技



秋季大会総合開会式



秋季大会卓球競技



秋季大会バレーボール競技

総合躍進賞

順位	郡市名	本年度大会得点	前年度大会得点	点差
第1位	中間市	192.5点	130.0点	62.5点
第2位	糸島市	457.0点	400.5点	56.5点
第3位	田川市	197.5点	155.0点	42.5点
第4位	飯塚市	387.5点	355.0点	32.5点
第5位	直方市	162.5点	140.0点	22.5点
第6位	鞍手郡	100.0点	90.0点	10.0点

※本年度の総合得点が昨年度の総合得点に比べ、のびた上位の郡市に躍進賞を授与する。

(令和元年度 スポーツフェスタ・ふくおか 第62回福岡県民体育大会 令和元年9月22日 / 県記録本部)

総合成績順位一覧表

総合順位	都市名	得点合計	得点内訳		男・女・混合別得点(順位)		
			競技得点	参加得点	男子	女子	混合
1位	福岡市	1098.5点	728.5点	370点	352.5点(2位)	428.5点(1位)	317.5点(1位)
2位	北九州市	951.0点	571.0点	380点	407.5点(1位)	296.0点(3位)	247.5点(2位)
3位	糟屋郡	812.5点	452.5点	360点	347.5点(3位)	312.5点(2位)	152.5点(5位)
4位	久留米市	595.0点	235.0点	360点	265.0点(4位)	185.0点(6位)	145.0点(6位)
5位	宗像市	575.0点	275.0点	300点	210.0点(7位)	232.5点(4位)	132.5点(8位)
6位	春日市	550.5点	250.5点	300点	207.5点(8位)	185.5点(5位)	167.5点(4位)
7位	大牟田市	527.5点	187.5点	340点	212.5点(6位)	135.0点(12位)	180.0点(3位)
8位	糸島市	457.0点	207.0点	250点	215.0点(5位)	152.0点(9位)	90.0点(13位)
9位	大野城市	452.5点	182.5点	270点	157.5点(14位)	165.0点(8位)	130.0点(10位)
10位	筑紫野市	445.0点	185.0点	260点	205.0点(9位)	107.5点(15位)	132.5点(8位)
11位	古賀市	440.0点	180.0点	260点	187.5点(10位)	182.5点(7位)	70.0点(17位)
12位	遠賀郡	425.0点	175.0点	250点	147.5点(15位)	150.0点(10位)	127.5点(11位)
13位	柳川市	405.0点	135.0点	270点	172.5点(13位)	105.0点(18位)	127.5点(11位)
14位	飯塚市	387.5点	117.5点	270点	187.5点(10位)	127.5点(14位)	72.5点(15位)
15位	行橋市	365.0点	105.0点	260点	185.0点(12位)	97.5点(20位)	82.5点(14位)
16位	福津市	312.5点	62.5点	250点	122.5点(19位)	140.0点(11位)	50.0点(25位)
17位	朝倉市	310.0点	100.0点	210点	140.0点(16位)	107.5点(15位)	62.5点(19位)
18位	太宰府市	297.5点	97.5点	200点	80.0点(29位)	72.5点(22位)	145.0点(6位)
19位	京都郡	292.5点	62.5点	230点	125.0点(17位)	105.0点(18位)	62.5点(19位)
20位	筑後市	247.5点	57.5点	190点	90.0点(27位)	129.5点(13位)	20.0点(30位)
21位	小郡市	242.5点	62.5点	180点	107.5点(25位)	95.0点(21位)	40.0点(27位)
22位	那珂川市	240.0点	40.0点	200点	117.5点(20位)	50.0点(26位)	72.5点(15位)
23位	みやま市	235.0点	25.0点	210点	110.0点(23位)	60.0点(25位)	65.0点(18位)
24位	田川郡	230.0点	50.0点	180点	112.5点(22位)	107.5点(15位)	10.0点(37位)
25位	八女市	217.5点	47.5点	170点	125.0点(17位)	40.0点(28位)	52.5点(23位)
26位	田川市	197.5点	67.5点	130点	115.0点(21位)	62.5点(23位)	20.0点(30位)
27位	中間市	192.5点	52.5点	140点	110.0点(23位)	62.5点(23位)	20.0点(30位)
28位	築上郡	180.0点	0.0点	180点	90.0点(27位)	40.0点(28位)	50.0点(25位)
29位	直方市	162.5点	12.5点	150点	70.0点(33位)	40.0点(28位)	52.5点(23位)
30位	宮若市	155.0点	25.0点	130点	72.5点(32位)	20.0点(35位)	62.5点(19位)
31位	豊前市	152.5点	12.5点	140点	52.5点(35位)	40.0点(28位)	60.0点(22位)
32位	嘉麻市	140.0点	0.0点	140点	70.0点(33位)	40.0点(28位)	30.0点(28位)
33位	八女郡	132.5点	12.5点	120点	92.5点(26位)	20.0点(35位)	20.0点(30位)
34位	三潨郡	117.5点	37.5点	80点	77.5点(31位)	30.0点(33位)	10.0点(37位)
35位	朝倉郡	110.0点	0.0点	110点	80.0点(29位)	10.0点(38位)	20.0点(30位)
36位	大川市	100.0点	0.0点	100点	50.0点(36位)	30.0点(33位)	20.0点(30位)
36位	鞍手郡	100.0点	0.0点	100点	50.0点(36位)	20.0点(35位)	30.0点(28位)
38位	三井郡	92.5点	12.5点	80点	50.0点(36位)	42.5点(27位)	0.0点(40位)
39位	うきは市	72.5点	12.5点	60点	42.5点(39位)	10.0点(38位)	20.0点(30位)
40位	嘉穂郡	60.0点	0.0点	60点	40.0点(40位)	10.0点(38位)	10.0点(37位)

令和元年11月17日、県営筑後広域公園でスポーツフェスタ・ふくおか「第62回福岡県民体育大会」スポーツの総合祭典第6回市町村対抗「福岡駅伝」が開催されました。

この福岡駅伝は、世代間を超えた交流を図り、市町村への帰属意識を高めようと平成26年度から開催しています。県内すべての60市町村の参加を得て、中学生から一般、シニアまでの幅広い世代の選手が筑後広域公園周回コース9区間30.1kmを疾走しました。

順位	総合の部	市の部	町村の部
第1位	北九州市	北九州市	篠栗町
第2位	久留米市	久留米市	志免町
第3位	福岡市	福岡市	粕屋町
第4位	篠栗町	宗像市	鞍手町
第5位	宗像市	小郡市	苅田町
第6位	小郡市	筑紫野市	筑前町
第7位	志免町	福津市	須恵町
第8位	筑紫野市	朝倉市	大木町



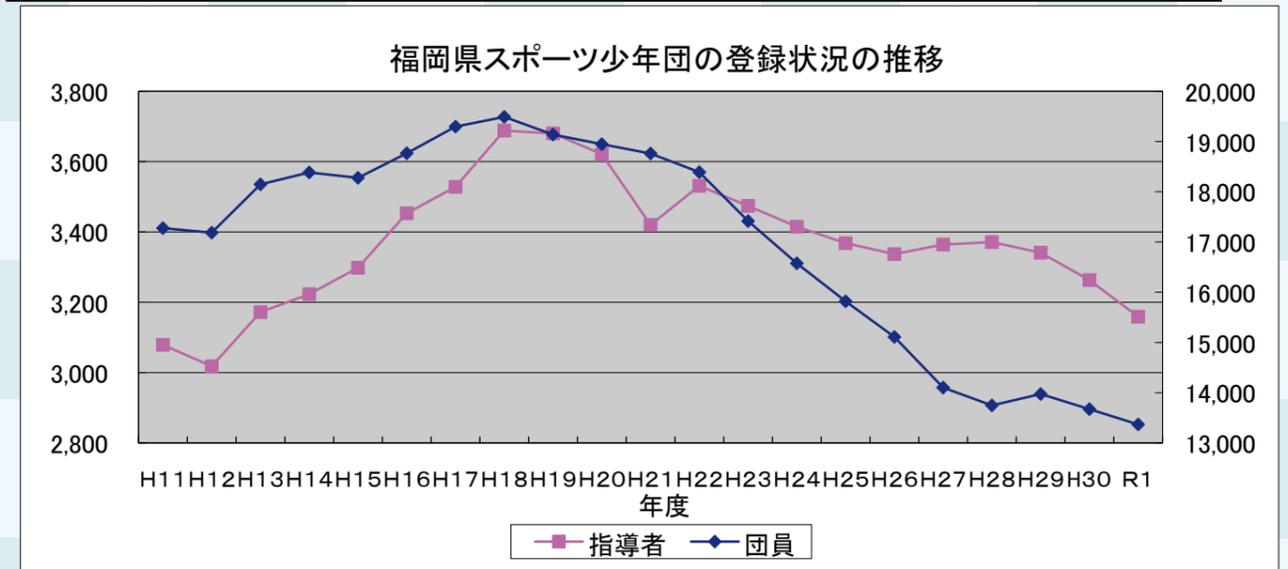
区間	区分	距離
1区	一般男子(19歳以上)	5.1km
2区	中学生女子	2.3km
3区	シニア(40歳以上)	2.7km
4区	ジュニア女子(中学1年生～18歳)	2.3km
5区	一般男子(19歳以上)	5.0km
6区	ジュニア男子(中学1年生～18歳)	2.7km
7区	一般女子(19歳以上)	2.3km
8区	中学生男子	2.7km
9区	一般男子(19歳以上)	5.0km

中学生：平成16年4月2日～平成19年4月1日生まれの者
 一般：平成13年4月1日以前に生まれた者
 ジュニア：平成13年4月2日～平成19年4月1日生まれの者
 シニア：昭和55年4月1日以前に生まれた者

福岡県スポーツ少年団

★登録状況★

年度	団数	団員数合計	男	女	指導者数合計	男	女
H30	717	13,673	10,302	3,371	3,263	2,896	367
R1	698	13,369	10,014	3,355	3,159	2,810	349



★リーダー会の活動★

「九州ブロックスポーツ少年団
 剣道交流大会」 交歓交流会

リーダー会がオープニングレクを担当

夏の一大
 イベント!

8月10日(土)～11日(日)に県立スポーツ科学情報センターにて開催されました。リーダー会では、九州各県から集まった約200名の参加者に夏休み最高の思い出を作ってもらおうと開会式後の交流会を担当しました。
 約1時間の持ち時間で5種類のレクを行い、交流会は大成功を収めました。

「リーダー研修会」



11月30日(土)～12月1日(日)に県立少年自然の家「玄海の家」で開催されました。県内の団員30名が参加し、1泊2日の研修を行いました。研修のなかでレクリエーションの指導法を学んだり、マナー講習では参加者たちがルール作成を行い、規則の大切さを再確認しました。

※3月には同施設にてジュニア・リーダースクールが開催されます。

リーダー会員が企画から運営まで行うリーダー会の大きな行事です。

詳しくは本会HPをご覧ください!

第41回軟式野球交流大会

日時:令和元年6月29日(土)・30日(日)・7月6日(土)

場所:北九州市立の場池球場 他

- ・参加数16団(各地区より選抜)
- ・大会結果 優勝:宗像ブルーシャークス(宗像市)
- 準優勝:高須少年(北九州市)

※優勝、準優勝の団は令和元年8月23日(金)～25日(日)に長崎県で開催された九州ブロック大会に出場しました。

第30回剣道交流大会

日時:令和元年11月3日(日)

場所:太宰府市総合体育館

- ・参加数45団 小中学生約500名
- ・大会結果:(全国大会出場団及び団員のみ記載)

団体戦 小学生の部 優勝
大野北剣道スポーツ少年団(大野城市)

個人戦 中学生男子の部 優勝

三代 真那斗(大野北剣道スポーツ少年団・大野城市)

中学生女子の部 優勝

緒方 寧寧(大野東剣道スポーツ少年団・大野城市)

※優勝団、団員は令和2年3月27日(金)～29日(日)に長野県で開催される全国大会に出場予定です。



第12回サッカー交流大会

日時:令和元年11月2日(土)～3日(日)

場所:こがねが丘陸上競技場 他

- ・参加数14団 小学生約220名(4年生以下)



第2回柔道交流大会

日時:令和元年11月10日(日)

場所:芦屋町武道館

- ・参加数6団 小学生36名

第12回ソフトボール交流大会

日時:令和元年12月7日(土)～8日(日)

場所:大牟田港緑地運動公園ソフトボール場 他

- ・参加数22団 小学生約500名



第13回バレーボール交流大会

日時:令和元年12月21日(土)～22日(日)

場所:北九州市立の場池体育館 他

- ・参加数 女子41団 男子7団 男女混合9団 小学生約560名
- ・大会結果:(全国大会出場団のみ記載)

女子の部 優勝:東風ジュニアバレーボールクラブスポーツ少年団(糸島市)

※優勝団(女子)は令和2年3月27日(金)～30日(月)に岐阜県で開催される全国大会に出場予定です。

第10回ミニバスケットボール交流大会

日時:令和2年2月22日(土)～23日(日)

場所:大野城市総合体育館 他

出場団・団員の結果

令和元年度第39回九州ブロックスポーツ少年団剣道交流大会

日時:令和元年8月10日(土)～11日(日)

場所:県立スポーツ科学情報センター(アクション福岡)

- ・参加数:32チーム(小学生16チーム・中学生16チーム)

小学生の部 ○太宰府心聖会 スポーツ少年団(太宰府市) ○山口剣友会 スポーツ少年団(筑紫野市)
○大野東剣道 スポーツ少年団(大野城市) ○西牟田少年剣道クラブ スポーツ少年団(久留米市)
○糸島市 スポーツ少年団(糸島市) ○宇美剣友会 スポーツ少年団(宇美町)

中学生の部 ○糸島市 スポーツ少年団(糸島市)・・・第2位
○城島剣道 スポーツ少年団(久留米市)・・・第3位
○三奈木尚武会 スポーツ少年団(朝倉市) ○福岡武徳会 スポーツ少年団(太宰府市)
○前原剣道 スポーツ少年団(糸島市)

令和元年度第39回九州ブロックスポーツ少年団ミニバスケットボール交流大会

日時:令和元年8月9日(金)～11日(日)

場所:県立武道スポーツセンター 他 (大分県)

- ・参加数:32団(男子16団・女子16団)

○八兄ミニバスケットボールクラブ女子部 スポーツ少年団(北九州市)・・・女子の部準優勝
○広徳ミニバスケットボールクラブ スポーツ少年団(北九州市)

令和元年度第39回九州ブロックスポーツ少年団バレーボール交流大会

日時:令和元年8月16日(金)～18日(日)

場所:豊見城市民体育館 (沖縄県)

- ・参加数:20団

○飯原ウイング スポーツ少年団(福岡市)・・・ベスト8

令和元年度第39回九州ブロックスポーツ少年団空手道交流大会

日時:令和元年8月17日(土)～18日(日)

場所:KIRISHIMAツツブキ武道館 (宮崎県)

- ・参加数:22団

団体戦 ○王城塾大野北空手道クラブ スポーツ少年団(大野城市)
個人戦 ○高橋 莉子(同団)
○荒木 那奈子(同団)
○南 将汰(同団)

令和元年度第39回九州ブロックスポーツ少年団軟式野球交流大会

日時:令和元年8月23日(金)～25日(日)

場所:なごみの里運動公園 他 (長崎県)

- ・参加数:16団

○高須少年 スポーツ少年団(北九州市)・・・第1位(雨天中止の為8チーム同率1位)
○宗像ブルーシャークス スポーツ少年団(宗像市)

令和元年度第39回九州ブロックスポーツ少年団ソフトボール交流大会

日時:令和元年8月23日(金)～25日(日)

場所:佐賀市立スポーツパーク川副 (佐賀県)

- ・参加数:14団

○釜蓋ジュニアソフト スポーツ少年団(大野城市)・・・第3位
○横代ライオンズクラブ スポーツ少年団(北九州市)・・・第3位

※サッカー競技は今年度出場無し

令和元年8月1日(木)～8月7日(水)
 ※8月1日(木)～8月5日(月)まで福岡県にて担当

8月1日

○到着(福岡空港)



8月2日

○いのちのたび博物館視察(北九州市)

○スポーツ交流(北九州市)

→北九州市スポーツクラブACEの指導のもと、様々な運動(スポーツ・レクリエーション等)を通して日本の中学生と交流を行った。



また、中国団員もスポーツ交流をとても楽しみにしていた様子だった。

○小倉城・庭園散策(北九州市)

○歓迎夕食会(北九州市)

→クラウンパレス北九州にて歓迎夕食会を行った。

また、交流を行ったスポーツクラブACEより北九州市の記念品を贈った。

8月3日

○九州国立博物館・

太宰府天満宮散策(太宰府市)

○SIPS活動交流(宇美町)

→宇美町にてSIPS活動(ドッチビー、大縄跳び、5本綱引き)を行い宇美町の団員と交流を行った。



中国団員は慣れていないところもあったが、真剣に取り組んでいた。

8月4日

○スポーツ交流(宇美町)

→太鼓、空手道、合気道を日本の団員と一緒に体験し1日を通して交流を行った。



また、太鼓はとても楽しそうに叩いていた。

○お買い物(キャナルシティ博多)

○送別夕食会(北九州市)

→クラウンパレス北九州にて送別夕食会を行った。

また、中国団員より数名の挨拶もあり、例年になく雰囲気の送別会になった。



8月5日

○出発(福岡空港)

世界で戦うトップアスリートを目指して
 ～福岡県タレント発掘事業修了生の活躍～

318名の修了生の活躍

福岡県タレント発掘事業は、福岡県内の各競技団体をはじめとするさまざまな関係機関のご協力のおかげで、事業開始より今年度で16年目となり、これまでに318名の修了生を輩出してきました。その中には国内・国際大会で活躍するトップアスリートとなった者、トップアスリートを目指し日々トレーニングに励んでいる者、競技の第一線は離れたものの、スポーツに携わり続けている者が数多くいます。また、スポーツの世界から離れた者は、スポーツで培ったスキルを仕事のスキルなどに活かし、社会人として活躍しています。修了生への活動調査を実施するにあたり、毎回多方面からの活躍の報告を受けています。

福岡県タレント発掘事業修了生の競技成績(平成16年～令和元年10月末時点)

全国大会優勝者 延べ156名 実数72名

国際大会出場者 延べ325名 実数52名

メダル獲得数 金 延べ32 実数16 銀 延べ22 実数13 銅 延べ33 実数14

今後の活躍に期待がかかる修了生の紹介

いよいよ東京オリンピック・パラリンピック開催まで1年を切りました。福岡県タレント発掘事業修了生の中にも東京オリンピックにおいて活躍が期待される者が数名いますが、今回は2024年以降のオリンピックでの活躍が期待される高校生世代の修了生を紹介させていただきます。

●内野 艶和(うちの つやか) 自転車競技

福岡県タレント発掘事業9期生 宇美町出身 祐誠高等学校3年

(今年度の主な成績)

・UCI TRACK ジュニア世界選手権 女子ポイントレース 優勝

・トラックアジア選手権 ジュニア女子ポイントレース 優勝



●高橋 千里香(たかはし ちりか) フェンシング(サーブル)

福岡県タレント発掘事業9期生 筑紫野市出身 福岡県立玄界高等学校3年

(今年度の主な成績)

・世界カデ選手権出場

・全国高等学校総合体育大会 優勝



●谷山 隼大(たにやま はやた) ラグビーフットボール

福岡県タレント発掘事業9期生 福津市出身 福岡県立福岡高等学校3年

(今年度の主な成績)

・第74回国民体育大会 優勝



東京オリンピックにおいて活躍が期待される修了生に関しては、次号以降で紹介させていただく予定となっています。

福岡練習会と3月にオール福岡合宿の実施

③ 8月に国体選手選考、北海道強化合宿、9月に県内で2回の強化合宿の実施。

長距離(都道府県対抗駅伝強化と連携しながら)

① 8月に国体選手選考、都道府県対抗駅伝強化合宿参加、県内で2回の強化合宿の実施

これらの強化事業を展開するために強化部のコーチ、運営するための庶務スタッフ等120名近い指導者を確保し、指導に当たっている。

また、指導力向上のために、国内トップコーチを招いての指導者講習会を年1回実施。そのコーチの学校に出向いての研修を年1回。次年度に強化スタッフでもう一度上記コーチのビデオ研修会を実施し、フィードバックしながら、指導力向上に努めた。また、上記の指導者講習会は公認指導者研修会でもある。

以上の一貫指導プログラムを整備し福岡陸上競技協会では事業展開を行ってきた。

この中から日本陸連ダイヤモンドアスリートとして藤井菜々子(北九州市立高出身、2019世界選手権20km競歩7位)や出口晴翔(東福岡高、2018ユースリレー400mH優勝)などのトップアスリートも生まれた。

この結果は、福岡県を始め、選手強化推進実行委員会、県体育協会はもとより、福岡陸上競技協会内のご理解とご支援あればこそであり感謝申し上げますと共に、年間を通じ、現場の指導現場を持ちながら、休みなく事業に関わっていただいているコーチ及びスタッフの皆様には深く感謝している。

今後は、課題も多くあるが、日本陸連が示した競技者育成プログラムを基にし、福岡陸上競技協会一丸となって、タレント発掘、県内指導者の指導力向上。競技会の充実をめざし、更なる競技力の向上に努めていきたい。

の事業との結びつきをどうするのか?等、暗中模索で次のように事業を構築していった。

まず、発掘、普及、強化の各事業に分け、一貫指導プログラムとして事業を見直した。

発掘、普及では以下の点に着目し、事業を考えた。当時は小学生の競技者は少なく、ほとんど中学生からの競技開始であり、試合も日清カップ(6月)の年1試合のみという状況であった。野球、サッカー、バスケット、バレーボールなどはゴールデンエイジとして小学生クラブの従実、大会の実施など行われる中で、陸上競技は旧態然とした状況であった。そのため、次のように発掘事業を展開した。

① トライアウトの実施(年1回実施。小学校5年生~中学生対象。コントロールテストを行い、陸上競技未経験者と経験者の陸上競技適性を図る)

② 県タレント発掘事業との連携

③ 小学生秋季大会創設。各地区記録会に小学生種目の実施

④ 小学生クラブの充実と小学生指導者研修会の実施(年1回実施。発育発達を考慮したトレーニングのための研修)

以上を見直し、普及部で事業展開を行なった。現在は小学生クラブも増え、タレントも多く輩出されるようになってきた。

次に選手強化であるが、2000年当時は、次年度の国体種目に限り強化していた状況であったが、国体における陸上競技は、2年ごとに種目変更が行われ、少年、成年種目にかかわらず、総合力がなければ実績が残せない。そのため、次のような強化対策を行った。

短距離、ハードル、跳躍、投擲

① 国体候補選手を11月に選考し、12月~3月までに4回の強化合宿の実施

② 小学生、中学生、高校生各カテゴリーから11月に強化対象者を選抜し、12月~2月までに3回のオール



ながらも必死に食らいつき、バトン是好調3走南山義輝(早稲田大)へ、途中脚がつりそうになりながらも必死に4走北原竜之介(九産大九産高)へバトンをうまく渡した。高校1年の北原は、成年選手から追い抜かれるも必死にゴールした際は8位であり、兵庫県と同時優勝かと思ったが、正式発表で失格した県があり、7位の成績となり、兵庫県を再逆転し、愛知国体以来25年ぶりの天皇杯獲得となった。

振り返れば、とびうめ国体前年から2000年までは常に天皇杯上位入賞であったが、岡山国体の2位を最後に、7位から10位前後の順位で、推移していた。その頃からスポーツ振興基本計画が国から示され、スポーツの受益者負担や、一貫指導システムの構築が囁かれ始めた。当時は中学、高校の各カテゴリーの強化対策だけであったため、一貫指導システムをどう構築すれば良いのか?県

「令和元年天皇陛下御即位記念いきいき茨城ゆめ国体」と銘打たれた大会も最終日。この時点まで優勝種目数5、入賞数13と着実に点数を重ねていた。3位以下の県はこの時点で兵庫と福岡を越えることは出来ない状況で、福岡県は天皇杯2位以上が確定していた。

福岡県陸上競技選手団の成績は、1位兵庫県(115点)と5点差の110点であり、残された種目は少年B3000mと男子成年少年共通4×100mリレー。対する兵庫県は女子成年少年共通4×100mリレーのみ。

1種目の少年B3000m大牟田高校1年荒巻朋熙はスタートから先頭集団に位置どり、後半スピードが一気に上がるも必死に食らいつき、ラストパートで3位に入選した。この時点で116点となり、兵庫を逆転し1位に躍り出る。スタンドに陣取っていた選手団は、大いに盛り上がり、「もしかして!」と優勝への期待を膨らませます。

次のレースは女子成年少年共通4×100mリレー。兵庫県の最後の種目である。号砲と共にスタートした各チームはバトンミスすることはほとんど無く、ゴールした兵庫県は7位で2点獲得。

最終種目を残す時点で、1位兵庫117点。2位福岡116点で、男子成年少年共通4×100mリレーで8位になれば同点両県優勝。7位以上なら福岡県の優勝という状況であった。ただ、この決勝は、準決勝で8番目の記録が同記録であったため、9チームが出場。9位なら総合成績2位となるため、選手団、コーチ陣も心臓のどきどき感は最高潮に達していた。リレーチームもこの状況はわかっており、選手達も使命感を感じる中でのスタートとなった。そんな中での号砲からのスタート。絶好のスタートから1走宮崎匠(東福岡高)から2走大瀬戸一馬(安川電機)へバトンタッチ、脚に不安があり

競技団体レポート

(二財)福岡陸上競技協会 強化部長 松隈大治



●音楽部会・・・欧米がスポーツクラブに音楽部会を持っているような世界の創出のための小さな音楽部会であり、イベント終了後には他の音楽団体に頼むのではなく、食事もそうではありますが、自らのクラブ内でそれをやっていく体制づくりをしています。私たちのクラブがこのような総合型地域スポーツクラブを育てようとしたきっかけは、欧州のとりわけドイツで実際に活動し、選手としても共に過ごしたり、フランクフルトスポーツシューレ（スポーツ学校）で学んだ仲間がいたことからであり、一つのスポーツ種目団体では語れない様々な事象を、会員の皆さんと共に体感しようと考えて活動しています。

私たちのクラブは、様々なスポーツ活動を通して生涯スポーツの実現に向けて努力しています。公共のスポーツ施設（那珂川市立青少年ホーム体育館・裂田溝公園球技場など）と市内のNPO法人と連携、指定管理者との連携によってスポーツを楽しんでいます。

●サイクルスポーツ・・・週2～3回のサイクルスポーツ（ロード・マウンテンバイク・サイクルサッカーなど、最高齢90歳のサイクリスト→元プロ選手でトップアスリートや、全日本大会参加の若手選手がいます。）佐賀県境までのヒルクライムサイクリングや、オフロードバイクングをしています。

●一輪車演技・・・選手は約30名で、週3回の小学生から高校生までの一輪車演技教室を体育館で行い、大会遠征は九州大会、西日本大会に参加しています。（西日本大会2位の實力）

●女子サッカー・・・今年令和元年夏から始めた女子サッカー教室は徐々に会員も増えてきているサークルで、小学生から参加可能です。

●ストライダー・・・未就学児の地面足けりのランニングバイクで、月1回のスクール実施、年2回の大会開催で保護者も一緒にこのサークルを育てています。県内でも組織的に活動しているクラブで有名になっています。毎回30名～50名の参加があります。

●低山登山・・・すべての会員対象の低山登山は月1回の登山会、市の75%が山林で占めるが故の活動であり、ちょっと歩くと都会の喧騒を全く感じない世界に入れるので人気のサークルです。毎回30名程度参加しています。

●障がい者スポーツ・・・クラブ設立当初から、障がい者会員もおりサイクルスポーツでは、知的障がい者のサイクルサッカー教室、聴覚・視覚障がい者のタンDEM自転車走をやっており文字通り総合型クラブを目指しています。10数名が健常者と共に活動しています。

●休耕田開拓事業・・・休耕田を借り受け、スポーツとして捉えて耕して、出来た作物を自ら調理して「食とスポーツ」を学んでいます。植え付けから収穫祭まで行っています。

●スポーツプロダクト事業・・・スポーツの新規性のある競技開発スポーツプロダクトを、技術面に明るい会員と共に実施しています。現在、取り組んでいるのは新規パラスポーツ種目にすべく「ハンドサイクルサッカー競技」を、健常者もはまるスポーツ、例えばポッチャ競技のような種目に育つものにしたと考えて開発しています。

総合型地域スポーツクラブ

スポーツBRANDEX福岡



や東京オリンピック出場を目指すアスリートのサポートをしております。地域スポーツであれ、オリンピック選手であれ、プロ選手であれ、一人の人間でしかありません。その選手に携わることは、その選手の人生を預かっている気持ちでサポートをしています。

尚、今年度より公益財団法人福岡市スポーツ協会の職員としてスポーツトレーナー業を中心に、休日や勤務後にメンタルコーチやジュニアバレーの指導、総合型地域スポーツクラブのコーチをしております。

今の目標は、スポーツコーチとしてとことん楽しみ、スポーツの素晴らしさを伝えることです。



こんにちは、沖西政信と申します。

私は中学生まで離島で育ちました。今でも実家は生まれ育った島にあります...

島での遊びは海では素潜りをしたり、山では秘密基地を作ったりなど遊びの中で自然と体と心が鍛えられていきました。

また夏休みの夕方は釣りです。夕方の時間帯は魚の活動が活性化されよく釣れるゴールデンタイムです。しかし餌がない。そこで考えたのが、最終便の船で帰る釣り客を見つけ余った餌をもらうことです。（釣り客にとって余った餌は不要なものですから、お互い Win-Win の関係になります）このような遊びの中から、どうしたら希望（目標）が叶えられるかという考える力を養うことができました。

このように私の基本は、この離島（郷）で育ちました。

前置きが長くなりましたが、私が本格的にスポーツに没頭し始めたのは、中学時代に部活動で始めたバレーボールです。

なぜバレーボールに没頭したのか？全校生徒40名強のため部活動の選択肢は、バレー部とバスケット部の二つだけでした。野球をしたかった私にとってはどちらでもいいやが本音でした。結果、先輩からの勧めもありバレー部へ入部。そこで私の人生を変えた恩師との出会いがありました。恩師は厳しい方で特に礼儀や感謝には厳しかったです。しかし叱られている内容に理解できることが多く、うまくなりたいと夢中になったことが楽しさになり、スポーツの本当のワクワク感を知ることになりました。

私が指導者になりたいと考えたのは、バレーボールという競技は、自分たちのコートにいかにかボールを落とさないかを競う競技です。仲間みんなでボールを繋ぎ、相手のコートに返すチームワークの重要性や楽しさがあります。このバレーボールの楽しさを多くの方々に知ってほしいと思ったことからでした。

また昨今、部活動など勝利至上主義による行き過ぎた指導などで、将来のある選手の夢を壊す指導者が後を絶ちません。このような選手たちを守りたいと思ったことから、メンタルの重要性に気づきました。

このようなことをきっかけに、メンタルやフィジカルなどの資格を取得し、2015年よりコーチ業をスタートしました。

まずはメンタルコーチとして、高校のバスケットボール部をはじめ、中学校のバレーボール部、水泳のインターハイ選手、陸上競技の短距離選手、テニスのジュニアアスリートなど携わり、今ここに集中することの大切さを伝えてきました。現在はプロを目指す野球選手

草の根指導者

新宮町バレーボールチーム指導者 沖西政信

(公財)福岡県体育協会賛助会員のご紹介

≪団体会員のみ掲載≫ (敬称略、順不同) 令和元年12月現在

(株)アーチ電工
 (株)RKB毎日ホールディングス
 相光石油(株)
 アイズ・トータルポディステーション
 赤穂印刷(株)
 (株)浅羽製作所福岡営業所
 (株)朝日新聞社
 (株)アスカ
 (株)礎建設
 有限会社井手時計店
 稲員興産(株)
 岩坂電気工事(有)
 岩崎建設(株)
 (株)若田屋三越
 (株)宇治川商店
 エア・ウォーター・マテリアル(株)
 (株)エコア
 NHK福岡放送局
 (株)エルテックス・ヨシダ
 (株)オー・イー企画
 大塚製菓(株)
 (株)オンワード樞山福岡支店
 (株)キャナルエンターテイメントワークス
 (株)九建
 九州朝日放送(株)
 九州高圧コンクリート工業(株)
 九州自動車リース(株)
 九州電気産業(株)
 九州電工ホーム(株)
 九州電力(株)
 九州ビル管理(株)
 九州木材工業(株)
 九州旅客鉄道(株)
 九業工業(株)
 九鉄工業(株)
 (株)九電工
 九電産業(株)
 (株)Q-mast
 (株)フオテック
 黒崎播磨(株)
 京王観光(株)福岡支店
 コカ・コーラボトラーズジャパン(株)
 コゲツ産業(株)
 五常物産(株)
 西部瓦斯(株)
 西部ガス興商(株)
 (株)ザザホラヤ
 佐藤産業(株)
 三栄ビルサービス(株)
 三光(株)
 (株)サンミリオン
 JR九州商事(株)
 清水建設(株)九州支店
 (株)新出光
 新出光不動産(株)
 シンコー(株)
 新善テック(株)
 スポーツ安全協会福岡県支部
 NPO法人スポーツジャパン日本競技スポーツ支援機構
 (株)正興電機製作所
 成和商事(株)
 (株)セクト坂口
 (株)設備保守センター
 (株)ゼンリン
 第一交通産業(株)
 大一産業(株)
 ガイヤモンド秀巧社印刷(株)
 大和証券(株)福岡支店
 (株)高田工業所九州支店
 (株)竹中工務店 九州支店
 (株)ダンロップスポーツマーケティング九州支店

医療法人(社)筑水会
 (株)筑邦銀行
 (株)地工
 (株)TVQ九州放送
 (株)電気ビル
 TOTO(株)
 (株)ドミックスコーポレーション
 トヨタ自動車九州(株)
 (株)にしがい
 (株)西広
 西鉄興産(株)
 (株)西鉄ホテルズ
 西鉄ビルマネージメント(株)
 西鉄旅行(株)
 西日本技術開発(株)
 西日本空輸(株)
 (株)西日本高速印刷
 (株)西日本シティ銀行
 (株)西日本新聞印刷
 (株)西日本新聞社
 西日本鉄道(株)
 西日本プラント工業(株)
 日九興産(株)
 (株)NIPPO福岡統括事業所
 日本製鉄株式会社八幡製鉄所
 (株)博多大丸
 (株)博運社
 半田建設(株)
 久野印刷(株)
 日之出水道機器(株)
 (株)ヒライ
 (株)ファビルス
 (株)福岡銀行
 (公財)福岡県学校給食会
 福岡地所(株)
 福岡スポーツマンクラブ
 福岡大学
 (株)福岡放送
 福岡リーセントホテル
 福三商工(株)
 (株)福設
 福高観光開発(株)
 (株)福東電設
 (株)ふくや
 富士ゼロックス福岡(株)
 (株)ポータル
 (株)毎日新聞西部本社
 松永建設
 (株)松本組
 丸三工業(株)
 (株)丸ふじ
 三島光産(株)
 ミズノ(株)九州支社
 溝江建設(株)
 名鉄観光サービス(株)福岡支店
 安川エンジニアリング(株)
 安川コントロール(株)
 (株)安川電機
 (株)安川ロジステック
 柳原機鋼(株)
 (株)山本工作所
 吉川工業(株)
 吉武産業(株)
 (株)読売新聞西部本社
 リコージャパン(株)九州事業本部
 リコーリース(株)九州支社
 若築建設(株)九州支店
 (株)渡辺青写真
 (公財)北九州市スポーツ協会
 (公財)福岡市スポーツ協会
 大牟田市体育協会

(公財)久留米市体育協会
 (一社)直方市体育協会
 (一社)飯塚市スポーツ協会
 NPO法人田川市体育協会
 柳川市体育協会
 八女市体育協会
 TOTO(株)
 筑後市体育協会
 大川市体育協会
 行橋市体育協会
 豊前市体育協会
 中間市体育協会
 (一社)小郡市スポーツ協会
 (一社)筑紫野市体育協会
 (一社)春日市体育協会
 (公財)大野城市体育協会
 (一社)宗像市スポーツ協会
 (一社)太宰府市体育協会
 NPO法人古賀市体育協会
 福津市体育協会
 うきは市体育協会
 宮若市体育協会
 嘉麻市体育協会
 朝倉市体育協会
 みやま市体育協会
 糸島市体育協会
 (一社)那珂川市体育協会
 糟屋スポーツ協会
 遠賀郡体育協会
 小竹町体育協会
 鞍手町体育協会
 嘉穂郡体育協会
 筑前町体育協会
 三井郡体育協会
 三潁郡体育協会
 八女郡体育協会
 田川郡社会体育振興協会
 京都郡体育協会
 築上郡体育協会
 福岡県スケート連盟
 福岡県アイスホッケー連盟
 福岡県スキー連盟
 (一社)福岡県水泳連盟
 福岡県ボート協会
 福岡県セーリング連盟
 (一財)福岡陸上競技協会
 (公社)福岡県サッカー協会
 福岡県テニス協会
 福岡県ホッケー協会
 福岡県ボクシング連盟
 (一財)福岡県バレーボール協会
 福岡県体操協会
 (一社)福岡県バスケットボール協会
 福岡県レスリング協会
 福岡県ウエイトリフティング協会
 福岡県ハンドボール協会
 福岡県自転車競技連盟
 福岡県ソフトテニス連盟
 福岡県卓球協会
 全日本軟式野球福岡県連盟
 福岡県相撲連盟
 福岡県馬術連盟
 福岡県フェンシング協会
 福岡県柔道協会
 福岡県ソフトボール協会
 福岡県バドミントン協会
 福岡県弓道連盟
 福岡県ライフル射撃協会
 (公社)福岡県剣道連盟
 福岡県ラグビーフットボール協会
 福岡県アーチェリー協会
 福岡県空手道連盟

福岡県銃剣道連盟
 福岡県フレイ射撃協会
 福岡県なぎなた連盟
 福岡県ボウリング連盟
 福岡県ゲートボール連合
 福岡県綱引連盟
 福岡県トリアスロン連合
 NPO法人福岡県武術太極拳連盟
 (一財)福岡県少林寺拳法連盟
 福岡県ゴルフ協会
 福岡カンツリー倶楽部
 古賀ゴルフクラブ
 芥屋ゴルフ倶楽部
 久山カントリー倶楽部
 西戸崎シーサイドカントリークラブ
 大博多カントリー倶楽部
 セブンミリオンカントリークラブ
 二丈カントリークラブ
 伊都ゴルフ倶楽部
 志摩シーサイドカントリークラブ
 筑紫ヶ丘ゴルフクラブ
 ザ・クイーンズヒルゴルフクラブ
 福岡岡山ゴルフ倶楽部
 門司ゴルフ倶楽部
 若松ゴルフ倶楽部
 小倉カントリー倶楽部
 玄海ゴルフクラブ
 福岡国際カントリークラブ
 周防灘カントリークラブ
 京都カントリー倶楽部
 チサンカントリークラブ遠賀
 勝山御所カントリークラブ
 チェリーゴルフクラブ 小倉南コース
 九州ゴルフ倶楽部 八幡コース
 小郡カントリー倶楽部
 太宰府ゴルフ倶楽部
 夜須高原カントリークラブ
 有明カントリークラブ
 筑紫野カントリークラブ
 セントラル福岡ゴルフ倶楽部
 皐月ゴルフ倶楽部 天拝コース
 福岡センチュリーゴルフ倶楽部
 八女上陽ゴルフ倶楽部
 浮羽カントリークラブ
 福岡サンレイクゴルフ倶楽部
 久留米カントリークラブ
 北九州カントリー倶楽部
 麻生飯塚ゴルフ倶楽部
 鷹羽ロイヤルカントリークラブ
 嘉穂カントリー倶楽部
 西日本カントリークラブ
 福岡フェザントカントリークラブ
 若宮ゴルフクラブ
 西ゴルフクラブ
 福岡レイクサイドカントリークラブ
 ザ・クラシックゴルフ倶楽部
 JR内野カントリークラブ
 ミッションバレーゴルフクラブ
 皐月ゴルフ倶楽部電王コース
 福岡県相撲連盟
 九州ゴルフ練習場連盟
 福岡県中部地区バレーボール協会
 久留米市バレーボール協会
 北九州市バレーボール協会

<< 賛助会員募集のお願い >>

公益財団法人福岡県体育協会は、「県民のスポーツライフの充実と豊かで活力のある生活の実現」に向けて、加盟団体（現在 50 競技団体、40 郡市体育協会、2 学校体育団体）とともに関係機関団体のご指導と県民各層のご協力を賜りながら、本県競技力の向上と県民スポーツの振興発展のため、主に次のような活動を展開いたしております。

1. 競技スポーツ振興のための各競技団体における一貫指導体制構築の推進。
2. トップアスリート育成のためのタレント発掘事業の推進。
3. ジュニアスポーツ振興のためのスポーツ少年団活動等の推進。
4. 生活・健康スポーツ振興のための総合型スポーツクラブの育成。
5. 県民のスポーツ活動振興のためのスポーツ指導者の養成及びスポーツ医・科学によるサポート事業の推進。
6. 県民へのスポーツ情報の提供。
7. 国際理解と友好促進のための国際スポーツ交流の推進。

これらの事業の実施にあたっては各方面のご協力と多くの財源が必要となりますが、近年、本会の財源は大きく縮小しており、現状では事業推進のための財源確保が困難な状況にあります。つきましては、本協会の事業趣旨をご理解、ご賛同のうえ、たくさんの皆様に賛助会員のお申込みをいただきますようお願いいたします。

《賛助会費》

(団体会員) 1口 10,000円 から

(個人会員) 1口 2,000円 から

《お申込み・お問い合わせ先》

公益財団法人福岡県体育協会

〒812-0852 福岡市博多区東平尾公園2丁目1番4号

TEL：092-629-3535 FAX：092-629-3536

E-mail：fukuokaken@japan-sports.or.jp

九州50ヶ所の営業所から いつもあなたのそばに

お近くの営業所で、おトクな料金プランや
サービスなどお気軽にご相談ください



お近くの営業所については

